



# 大阪 てくてく 羽曳野

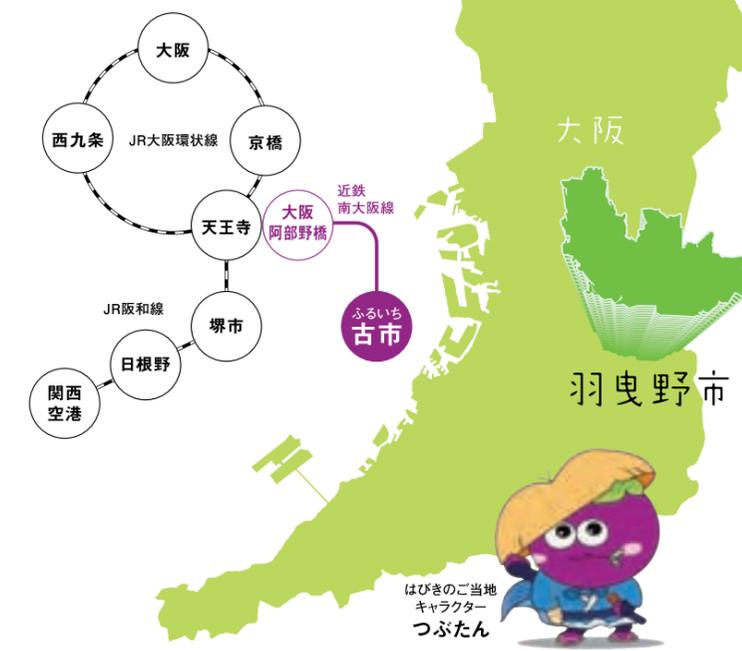
TEKU-TEKU HABIKINO in OSAKA

## 5つの道で新発見!!

- 1 悠久の古墳ロード (巨大古墳を体感できる)
- 2 白鳥伝説ロード (ヤマトタケルが舞い降りた)
- 3 日本最古の官道 竹内街道 (外交や信仰を支え続けた)
- 4 近つ飛鳥ロード (古代ロマンの息吹あふれる)
- 5 長尾街道 (昔も今も人や物が行き交う)

電車の場合…  
JR「大阪駅」より大阪環状線「天王寺駅」下車、「大阪阿部野橋駅」から近鉄南大阪線で「古市駅」まで約20分

車の場合…  
西名阪自動車道・藤井寺ICから約10分  
南阪奈道路・羽曳野ICより約8分



羽曳野市のぶどう畑やワイナリーが舞台となった映画「あしたになれば。」

# はびきのを おもいきり遊ぶ 5つの道

大阪府羽曳野市には、日本の歴史がいっぱい詰まっています。歴史、文化、グルメ、ショッピングを5つの道にまとめました。季節の移ろいを感じながら羽曳野をお楽しみください。



## 1 悠久の古墳ロード

巨大古墳を体感できる ←P4 5km  
近鉄南大阪線「古市駅」周辺をめぐる  
国内最大級の規模を誇る応神天皇陵古墳。墳丘のすぐ横の小道を歩けば、その大きさが実感できるはず。古墳の南側には、応神天皇ゆかりの誉田八幡宮が鎮座しています。また、市役所のすぐ西側にある墓山古墳も堂々たる規模を持ち、周辺には墓山古墳と関連の深い古墳(陪塚)も存在します。その一つの向墓山古墳の近くには文化財展示室があり、古市古墳群出土の見事な埴輪などを見学することができます。



## 2 白鳥伝説ロード

ヤマトタケルが舞い降りた ←P8 4km  
近鉄南大阪線「古市駅」西側をめぐる  
昔から交通の要衝として栄えてきた「古市駅」の西方には、白鳥陵古墳があります。ヤマトタケルノミコの魂が白鳥に化し、古市まで飛来してきたという白鳥伝説。私たちの好奇心や想像力を刺激します。そんなロマンティックな伝説に思いを巡らせながら、街歩きをしてみたいはいかがでしょうか。



## 3 日本最古の官道 竹内街道

外交や信仰を支え続けた ←P14 5.5km  
近鉄南大阪線「古市駅」～「駒ヶ谷駅」をめぐる  
竹内街道は、推古天皇21年(613)に、それ以前の「丹比道」を、難波津から飛鳥の都へ通じる大道として整備されたことに始まります。大陸からの使者を都へ導いた外交の道、また聖徳太子信仰を支えた道として、悠久の時の中で様々な役割を担ってきた往時の面影を探してみてください。



## 4 近つ飛鳥ロード

古代ロマンの息吹あふれる ←P19 6km  
近鉄南大阪線「上ノ太子駅」周辺をめぐる  
近鉄南大阪線「上ノ太子駅」の周辺は、歴史的個性が豊かな地で、古代より「近つ飛鳥」と呼ばれています。飛鳥川をはさむように、丘陵地の山肌にはぶどう畑が広がり、里山の魅力にあふれた風景を楽しむことができます。



## 5 長尾街道

昔も今も人や物が行き交う ←P22 3.5km  
近鉄南大阪線「高鷲駅」～「恵我ノ荘駅」をめぐる  
長尾街道は、古くは天津道と呼ばれ、竹内街道と並行するように現在の住宅街の中を通っています。ひとたび路地裏に入り込むと、地域に根付いた暮らしを探訪することができます。「おやっ!」と思わせる風景の中にたたずむ人々の営みに、長尾街道の魅力を探ることができるはず。です。



世界文化遺産登録  
栄華を誇る国内最大規模の古墳



## 応神天皇陵古墳

●おうじんてんのうりょうこふん

墳丘長約425m、後円部直径250m、前方部幅300m、高さ36mの規模を誇る、国内最大級の前方後円墳。二重の濠と堤を持ち、墳丘や堤には、推定2万本の円筒埴輪が立て並べられ、この他にも蓋(きぬがさ)、盾、鞠(ゆき)、家や水鳥の形をかたどった埴輪も出土している。また、蓋形の木製品や、タコやクジラをかたどった土製品も知られている。

●羽曳野市菅田6 ●近鉄南大阪線「古市駅」から徒歩約15分



1

巨大古墳を体感できる

# 悠久の古墳ロード

ゆうきゅうのこふんろーど

古墳時代の  
躍動的な一面を  
垣間見せる巨大古墳

見どころは、やはり応神天皇陵古墳でしょう。仁徳天皇陵古墳に次ぐ墳丘長を誇る、墳丘体積では応神天皇陵古墳が上回ると言われています。築造当時、古墳の斜面には石がびっしりと施され、平坦面には何万本もの円筒埴輪をはじめ様々な形の埴輪、土器や木製品が立て並べられていました。このような人工的な造営物の巨大古墳も、長い年月の間とうとうとした森に姿を変えていきました。

応神天皇陵古墳の大きさを体感するには、古墳のすぐ西側の小道から眺めるのが一番です。壮大な墳丘、内堤、外濠や外堤などを一望できます。

巨大古墳を造営するには、どれほどの人々が携わり、どれくらいの時間を費やしたのでしょうか。地面を掘削し、土を盛り上げる人、必要な物資を運ぶ人、埴輪、土器や石の棺の製作にイソヒム人、これらの人たちの生活を支え食糧を準備する人など、その様子を想像するだけで、多くの人たちの喧騒が響き、活力で満ち溢れたにぎやかな場面が目に見えてきます。

現在、巨大古墳は私たちの暮らしの中に溶け込んでいます。約1600年前の躍動的な羽曳野の地を空想し、長く続く時の流れに思いをはせてください。



## 菅田白鳥 埴輪製作遺跡

●こんだはくちょう はにわせいさくせいせき

昭和44年(1969)に、道路工事中に偶然発見された、埴輪を焼いた窯跡。その後の発掘調査で、円筒埴輪や朝顔形埴輪、家や人物等をかたどった埴輪も出土している。現在、国指定史跡。

●羽曳野市菅田3他 ●近鉄南大阪線「古市駅」から徒歩約8分



## 墓山古墳と文化財展示室

●はかやまこふんとぶんかざいてんじしつ

5世紀前半に築かれた墳丘長225mの大型前方後円墳。後円部の中心には、竪穴式石室(たてあなしきせきしつ)があり、その中に「王者の棺」と言われる長持形石棺(ながもちがたせつかん)が納められていた。墓山古墳の陪塚のひとつである向墓山古墳周辺では、見学通路や文化財展示室を整備。古市古墳群から出土した埴輪をはじめ、峯ヶ塚古墳から出土した副葬品などを展示している。

●羽曳野市白鳥3 ●近鉄南大阪線「古市駅」から徒歩約8分



◀羽曳野市内から出土した埴輪。



## 味喰笑・Big Joe

●びっくじょう・びっくじょー

オーナーの齋藤昭一さんは、九重部屋元前頭「若の富士」。ちゃんこ鍋は、鶏ガラ醤油ベースで九重部屋の流れをくむ。コクがありながらもあっさりしているので、飽きがこない。敷地内には八角部屋の大阪宿舎があり、大阪春場所の時期は力士に遭遇するかも！また隣接するビッグジョーは、ボリューム満点のステーキやハンバーグが人気でいつもにぎわっている。スープ、ライス、サラダがつくUSリブローズステーキ4,200円(税込)が一番のおすすめ！

☎072-954-0015 ●羽曳野市菅田3-23-17  
●11:00～15:00(L.O14:00)、17:00～22:00(L.O21:00)  
●年末年始休、【水曜休(4～10月)味喰笑のみ】 ●近鉄南大阪線「古市駅」から徒歩約15分

## 河内こんだハニワの里 大蔵屋

●かわちこんだはにわのさと おおくらや

今からおよそ1,500年前の古墳時代、おおくの埴輪がつくられていた河内こんだエリア。世界でたった一つのマイ埴輪をつくりませんか。お一人でも、グループでも大歓迎！小さなお子様も粘土遊び感覚でお楽しみいただけます。古墳・埴輪グッズの販売や古墳ギャラリー、はにわ弁当もご紹介します。

☎072-958-3344 ●羽曳野市菅田3-22-21  
●10:00～17:00  
●不定休  
●近鉄南大阪線「古市駅」から徒歩約10分



- おすすめルート**
- S はびきのビジターセンター
  - ① 菅田八幡宮
  - ② 応神天皇陵古墳拝所
  - ③ 墓山古墳と文化財展示室
  - ④ 菅田白鳥埴輪製作遺跡
  - G 古市駅



## セラヴィ(いちぢくの花)

●せらうい(いちぢくのはな)

フランス産フォアグラ、カナダ産オマール海老など厳選した食材を用い、一品ごと丁寧に仕立てたフレンチが堪能できる。ランチはパスタまたはスープがカジュアルに楽しめる。ガラスプレートに美しく盛り付けられた前菜6品盛り合わせは感動もの。おすすめグルメランチ3,300円(税込)も人気。

☎072-956-5790 ●羽曳野市菅田3-15-33 石橋ビルB1  
●11:30～14:30(L.O13:30)、18:00～22:00(L.O20:30)  
(アラカルト・飲み物L.O21:00)  
●火曜、水曜休 ●近鉄南大阪線「古市駅」から徒歩約10分



## 菅田八幡宮

●こんだはちまんぐう

応神天皇、仲哀天皇、神功皇后を祭神として、住吉大神を祀っている八幡宮で、安産や厄除に、また、応神天皇は商工業の祖神、学問芸術の親神としても、河内周辺地域の人々から篤く信仰されてきた。建久7年(1196)に、源頼朝により社殿などが修復されている。その際に寄進された塵地螺鈿金銅装神輿(ちりじらでんこんどうそうしんよ)は国宝に指定されている。毎年9月15日には秋祭りが行われ、応神天皇陵古墳の堤まで神輿を担ぐ「お渡り」が今に伝えられている。

☎072-956-0635 ●羽曳野市菅田3-2-8  
●近鉄南大阪線「古市駅」から徒歩約10分



## 白鳥

●はくちょう

天ぷら、造り、寿司などの和食処。昼の一番人気のそば定食1,100円(税込)は、焼き魚や近郊の地野菜を使った和え物などお惣菜が楽しみ。生そばの薬味は長野県・下條から取り寄せた親田辛味大根を使用し、さわやかな辛みがのど越しのよい二八そばと好相性だ。

☎072-957-7702 ●羽曳野市白鳥3-1-1  
●11:00～14:00  
●火曜、水曜休  
●近鉄南大阪線「古市駅」から徒歩約5分



▲戦国時代に兵火で焼失後、豊臣秀頼が再建中に大坂夏の陣が勃発したため、一部は天井板がはめられず未完成になっている。

安産、厄除、商売にご利益あり  
八幡宮の秘めたパワーが人気



▶源頼朝が寄進した、鎌倉時代の国宝の塵地螺鈿金銅装神輿。

てくてく  
コラム

## 東高野街道

東高野街道は、京都九条の教王護国寺(東寺)から大阪平野の東縁を南下し、羽曳野市域を通過して紀見峠を越え高野山に至る巡礼の道です。かつて、街道沿いには古代寺院や河内内府が設けられ、中世には河内の守護所が古市の高屋城に置かれ、政治・文化の中心地としての役割を果たしていたと言われています。

遠い古の時代から語り継がれる想像力をかきたてる街

近鉄南大阪線「古市駅」周辺は、内街道と東高野街道が交差する場所です。昔から交通の要衝として栄えてきました。古市駅の西側には、ヤマトタケルノミコトの白鳥陵古墳が存在します。ヤマトタケルノミコトは、『古事記』や『日本書紀』に登場する英雄で、系譜によれば応神天皇の祖父に当たる人物となっています。興味深いことに、白鳥陵古墳の北方にある応神天皇陵古墳からは、水鳥をかたどった立派な埴輪がいくつも出土しています。

商店が立ち並ぶ古市駅前の西には、「白鳥」という名の付いた交差点があります。そこからバス通りを進むと、地元の人に愛される店が点在し、裏手には気になる看板をちらりほらりと見つけることもできます。路地に迷い込むと、地元の人々でも知る人ぞ知るリーズナブルでうまい名店に出会えるのではないのでしょうか。

### 白鳥陵古墳

◎はくちょうりょうこふん

前の山古墳とも呼ばれ、墳丘長200mの5世紀後半の大型前方後円墳。築造当初は周濠外側には堤が巡り、さらにその外側には堤を取り巻くように周溝が存在していた。墳丘は3段に築かれ、円筒埴輪列や葺石を施す。古墳のすぐ北側を走る竹内街道からは、幅広い周濠と雄大な墳丘を間近に眺めることができ、「白鳥伝説」ゆかりの古墳の魅力を体感できる。

●羽曳野市軽里3 ●近鉄南大阪線「古市駅」から徒歩約5分



### 峰塚公園 (峯ヶ塚古墳)

◎みねづかこうえん (みねがづかこふん)

古市古墳群の中で、墳丘内部が発掘調査されている数少ない前方後円墳。5世紀末～6世紀初頭にかけて築造され、二重の周濠を有している。現在までの調査により、金銅や銀で飾られた豪華な飾り金具や立派な大刀(たち)、武器や馬具といった、総数3500点以上の副葬品が見つかった。

●羽曳野市軽里2 ●近鉄南大阪線「古市駅」から徒歩約15分



## 2 ヤマトタケルが舞い降りた白鳥伝説ロード

はくちょうでんせつろーど



勇壮なだんじりは一見の価値あり！  
ヤマトタケルノミコトが祀られた神社

てくてく  
コラム

### 白鳥伝説 (はくちょうでんせつ)

ヤマトタケルノミコトは、第12代景行天皇の皇子で、武勇にすぐれ、その名が広く知られていました。天皇の命令を受け西国や東国への遠征を行い、勝利を収めました。しかし、その帰途に伊勢の能褒野(のほの)で没してしまいます。その後、ヤマトタケルノミコトは白鳥に姿を変え、大和に向けて飛び立ちました。琴弾原(奈良県御所市付近)に降り立った後に再び飛び立ち、河内の旧市邑(羽曳野市古市付近)に舞い降りました。そして、白鳥はついに天高く飛び去ったと言われています。また別の書物には、羽を曳くがごとく飛び立たと記されており、ここから「羽曳野」の地名がつけられたと言われています。

毎年10月上旬は  
だんじりで  
大にぎわい!!

▶映画「あしたになれば。」の挿入歌「タリナイオモイ」を歌っている佐々木友里さん。



▲古市駅からほど近い丘の上に建つ社殿。

▲地車の「ぶんまわし」「やりまわし」も見ごたえ抜群の羽曳野のだんじり。

### 白鳥神社

◎しらとりじんじゃ

かつて軽里の西方の伊岐谷にあった、ヤマトタケルノミコトを祭神とする伊岐宮を、江戸時代に現在の地に移したと言われている。牛頭天王(ごずてんのう)とその後の婆利妻女(はりさいじょ)とともに白鳥大明神が祭神とされ、現在はヤマトタケルノミコトとスサノオノミコトが祀られている。毎年10月上旬には、だんじりが神社境内への坂道を勢よく駆け上がる。勇猛な「ぶんまわし」や「やりまわし」は祭礼の見どころの一つ。

●羽曳野市古市1-1-18 ●近鉄南大阪線「古市駅」から徒歩約2分



## 温カフェ

●おんかふえ

“和”と“洋”をテーマに2017年全面リニューアル。さらにお洒落で可愛いお店に。オリジナルのプリザーブドは100種類以上の品揃え、また店内はシーズンごとに表情がガラッと変わり、また行きたいと感じるお店。店主が買付けた海外雑貨や清水焼など他ではあまりない雑貨も多い。カフェは、現在テイクアウトドリンクのみ営業中、詳しくは店頭にて。店名の通り心がほっこり温まるひと時が過ごせる。

☎072-958-6660 ●羽曳野市白鳥1-4-17  
●10:00~20:00(要予約)  
●不定休 ●近鉄南大阪線「古市駅」から徒歩約5分

▲アーティフィシャルフラワーリース:5,500円~/プリザーブドアレンジ3,000円~/ギフトラッピング無料



## カフェ峯屋

●かふえみねや

生活文化情報センター「LIC はびきの」を利用する市民が、気軽に立ち寄れる憩いの場。喫茶メニューをはじめ、ランチタイムにはボリュームたっぷりの日替わり定食、ハラミ定食、特上ヒレカツ定食等を目当てに、図書館や各種イベント・教室の前後に通う「定番コース」にする常連客も多い。

☎072-956-1010 ●羽曳野市軽里1-1-1 LIC はびきの1F  
●通常営業10:30~18:00(ランチ11:30~14:00)  
●年末年始休(不定休あり) ●近鉄南大阪線「古市駅」から徒歩約15分



- おすすめルート**
- ⑤ はびきのビジターセンター
  - ① 白鳥神社
  - ② 白鳥陵古墳
  - ③ 峰塚公園(峯ヶ塚古墳)
  - ④ 翠鳥園遺跡公園
  - ⑥ 古市駅



## スイーツ・パン・カフェ フラワー 竹内街道軽里店

●すいーつ・ぱん・かふえ ふらわー たけのうちのいさごうさとてん

名菓「マダム・ヨーコ」でもおなじみ、南大阪エリアで絶大な人気を誇る老舗パティスリー。明るく開放的な店内は、手土産を選ぶ人やカフェを利用する人でいつもにぎわっている。香ばしいパン、季節のスイーツなどの多種多様な、窓辺の席の居心地のよさが“今日はフラワー気分”へと誘う。

☎072-958-4444 ●羽曳野市軽里2-73-1 ●9:30~19:00(ランチ11:00~15:00)  
●無休(1/1を除く) ●近鉄南大阪線「古市駅」から徒歩約15分



## まさゆめさかゆめ

●まさゆめさかゆめ

趣ある備前焼の器で供されるのは、旬の食材を使った会席料理。店内は無垢材で設られており、木の温もりに満ちていて、職人の手仕事が光る料理の数々を堪能できること間違いなし。お昼の会席は3,500円から。

☎072-946-0018 ●羽曳野市栄町5-7 栄ビル2F  
●11:30~15:00(LO14:00) 17:30~21:00(LO20:00)  
●水曜休(不定期月2回火曜)  
●近鉄南大阪線「古市駅」から徒歩約3分



おいしい  
お店が  
いっぱい!!



## MAISON INCO

●めぞんいんこ

南河内の食材を使ったキッシュが自慢のピストロ×パティスリー。ワインと相性の良いアラカルトも用意。ゆっくり寛げる空間はいつも女性客で賑わっている。オードブルやお弁当、パースデーケーキの予約なども受け付けている。

☎072-959-7380 ●羽曳野市栄町9-10-102  
●【火~土】11:00~14:00(LO)、  
18:00~22:00(ディナーは前日までの予約)  
【日】テイクアウト営業11:00~18:00  
●月、祝日休 ●近鉄南大阪線「古市駅」から徒歩約5分



## 翠鳥園遺跡公園

●すいちょうえんいせきこうえん

約2万年前の石器作りの跡が発見され、遺跡公園として整備された。まず目に留まるのは、石器を作るために打ち割った石を表した卵形のモニュメントがあり、近隣の子どもの遊び場にもなっている。奇跡的に残っていた旧石器人のアトリエを、実物大の模型や写真を使って再現している。

●羽曳野市翠鳥園2-10-101  
●近鉄南大阪線「古市駅」から徒歩約10分



# 旧石器時代から続く、 羽曳野の歴史

羽曳野市の歴史は、約二万年前の旧石器時代にさかのぼります。二上山産出のサヌカイトという石材を用いた狩猟用の石器作りの跡が、翠鳥園遺跡で見つかっています。また、伊賀遺跡では縄文土器を使った墓が発見されています。

弥生時代、西浦では当時の輝きのままの銅鐸が出土しています。

古墳時代に入ると、石川流域に前方後円墳、前方後方墳が築造されます。中期になると、日本屈指の規模の応神天皇陵古墳を中心とする古市古墳群が形成されます。後期には、駒ヶ谷飛鳥の丘陵に小さな古墳が寄り集まって築かれます。これらの古墳からは、渡来系の遺物が見つかっています。終末期には、朝鮮半島に起源をもつ非常に精巧な造りの石室をもつ古墳も築かれました。

飛鳥奈良時代には、朝鮮半島から渡来した諸集団が羽曳野市やその周辺に集住していました。彼らによって最新の文化がもたらされ、多くの寺院や建物が建立されました。

平安時代後半、有力武家の一人の源頼信が壺井に居住したと伝えられています。頼信、子の頼義や孫の義家は関東や東北地方の戦で勝利して、特に義家は八幡太郎の名を天下にどころかせました。源頼信、頼義、義家の三代

の墓、また彼らにゆかりのある壺井八幡宮や通法寺跡があります。鎌倉幕府を開く源頼朝は、河内源氏の直系の子孫です。

鎌倉時代には、源頼朝によって非常に装飾豊かな神輿が壺井八幡宮に寄進されています。

室町時代後半から戦国時代にかけて、室町幕府管領家の流れを汲む河内守護大名の畠山氏の居城として、高屋城が古市に築かれました。当時としては最大級の城郭でした。しかし、織田信長の河内攻めで落城したと伝えられています。

大坂夏の陣の後に、島泉に吉村家住宅が建築されます。江戸時代半ばになると、河内木綿の栽培が盛んになり、庶民の生活水準も高くなりました。特に古市は、竹内街道と東高野街道が交差し、石川には剣先船が往来するなど、交通と経済の拠点としてにぎわいを見せました。

大正12年(1923)に道明寺〜大阪天王寺(現大阪阿部野橋)間に大阪鉄道(現在の近畿日本鉄道)が開通し、沿線の恵我之荘や白鳥に住宅地が開発され、大阪のベッドタウンとして、人口も一気増加しました。

昭和34年(1959)1月15日には市制が施行され、ヤマトタケルの白鳥伝説にちなんだ市名である「羽曳野市」が誕生しました。

## 「百舌鳥・古市古墳群」が世界遺産に登録されました!

「百舌鳥・古市古墳群」が、2019年にアゼルバイジャンで開催された第43回ユネスコ世界遺産委員会で、世界遺産一覧表への記載が決定しました。

古市古墳群は、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」では「古市エリア」と呼ばれています。羽曳野市と藤井寺市にまたがって4km四方の範囲に広がる、巨大な前方後円墳を中心として構成される古墳群です。4世紀後半から6世紀半ばにかけて形成されました。前方後円墳21基(そのうち墳丘の長さが200mを超える巨大な前方後円墳が7基)、方墳18基、円墳6基、形状不明1基の合計46基が現存しています。このうち、保存状況のよい、5世紀代を中心とした時期の古墳が世界遺産の構成資産となりました。

古市古墳群の特徴としては、まず墳丘の巨大性が挙げられます。その一方で、10m未満の小古墳も存在します。墳丘の形状も、一定の規範に従って定型化したものが築造されたと考えられています。墳丘のさまざまな規模や形状は、古墳の被葬者の社会的地位が表現しているものと思われます。また、幾何学的な墳丘の表面には埴輪や石が施されていますが、これは墳丘が葬送儀礼の場として機能していたと考えられ、世界の中でもユニークな事例として評価されています。

現在、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」は、都市化の進んだ市街地の中に存在しています。1600年間という長い時間の中で、今まで大切に守り続けられてきました。未来永劫、次の世代に大切に引き継いでいくべき「人類の宝」です。

### 世界文化遺産登録までの流れ

大阪府・羽曳野市・堺市・藤井寺市が共同で文化庁へ提案 2007(H19).9.26

ユネスコ世界遺産暫定一覧表に記載 2010(H22).11.22

国内候補資産に決定 2017(H29).7.31

イコモスによる現地調査 2018(H30).9

第43回ユネスコ世界遺産委員会にて登録決定 2019(R1).7.6

### 「もずふる応援隊」に参加しよう みんなで世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」を応援しよう!!

「もずふる応援隊」は、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」を応援したい個人、企業、団体が参加できます。応援隊認定証が発行され、世界遺産関連イベントの情報が随時配信されます。詳しくは羽曳野市のHPをご覧ください。

お問い合わせ先 羽曳野市教育委員会 文化財・世界遺産室  
〒583-8585 羽曳野市菅田4-1-1 ☎072-947-3917 ✉bunka-sekai@city.habikino.lg.jp

昭和・平成	明治・大正	江戸時代	室町・戦国時代	鎌倉時代	平安時代	飛鳥・奈良時代	古墳時代	弥生時代	旧石器時代・縄紋時代
<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和34年(1959)市制が施行され、「羽曳野市」が誕生する</li> <li>平成16年(2004)、南阪奈道路が開通する</li> <li>平成31年(2019)、市制施行60周年</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>大正12年(1923)、大阪鉄道の道明寺〜大阪天王寺間が開通する</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>大坂夏の陣の際、道明寺・菅田の戦いの舞台となる</li> <li>菅田八幡宮が再建される</li> <li>吉村家住宅が建築される</li> <li>石川の剣先船による船運が盛んに行われる</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>室町幕府の守護大名である畠山氏の居城として高屋城が築城される</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>源頼朝が菅田八幡宮に神輿を寄進する</li> <li>叡尊が西琳寺を復興する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>源頼信が河内守に任ぜられる</li> <li>通法寺・壺井八幡宮が建立される</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>渡来系氏族によって、多くの寺院が建立される(西琳寺・野中寺)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>石川流域に前方後円墳や前方後方墳が築造される(壺井丸山古墳・庭鳥塚古墳)</li> <li>応神天皇陵古墳を中心とする古市古墳群が形成される</li> <li>横穴式石室をもつ小さな古墳が群集して築かれる(飛鳥千塚古墳群)</li> <li>精巧に加工した石材を用いた石室の古墳が築かれる(観音塚古墳・鉢伏山西峰古墳)</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>サヌカイト製の武器が作られる(城山遺跡)</li> <li>西浦で弥生時代後期の祭器である銅鐸が埋められる(重要文化財 西浦銅鐸)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二上山産出のサヌカイトを使ったナイフ形石器等の製作跡(翠鳥園遺跡)</li> <li>縄文時代の土器棺(伊賀遺跡)</li> </ul> 

金剛輪寺の住職・覚峰が再興し、  
勅使も派遣された名神大社

# 3 外交や信仰を支え続けた 日本最古の官道 竹内街道

にほんさいこのかんどう たけのうちかいどう



土から色をつくる  
日本最古の天然染料  
ベンガラ染め



▲ベンガラ泥染めミニボトル3本セット1,980円。6本セット3,960円。下染め剤660円。色は、絵の具のように混ぜて使うこともできる。

## 古色の美<sup>®</sup>

◎こしよくのび

日本家屋のベンガラ塗りとして創業。ベンガラの調合技術を活かし、繊維へのベンガラ染めに成功し、「古色の美」をオープン。赤色しかなかったベンガラの世界に、現在24色を生み出し可能性を吹き込んだ。古代からの染料ベンガラ。ベンガラ=赤という印象が強いが、「土を焼くと赤くなります。土の種類や燃焼温度、調合により、様々な色ができるんですよ」と社長の中島留彦さん。

☎072-957-7755 ●羽曳野市古市3-6-21  
●近鉄南大阪線「古市駅」から徒歩約8分  
●1日体験クラスは事前に予約が必要。  
詳しくは<http://www.kosyokunobi.com>



ゴムや板を使うと絞り染めが、型紙を使えば型染めもできる。土が生み出した色の世界を自由に楽しもう。古代の人が使っていたベンガラだけあって、機能性も抜群。日光による色あせにも強い。



▲1日体験、スクールもある。水とバケツさえあればできる気軽さと、おもいおもいに染まる楽しさは感動もの。素材は土なので子どもでも安心して参加できる。「肌着を染める人が多いんですよ」と中島さん。1日体験は1人2,500円(材料費別)。

ご利益をあやかり  
ワインでほろ酔い気分を

竹内街道は、「丹比道(たじひみち)」と言われた古道を、飛鳥時代の推古天皇21年(613)に、当時の外港であった難波津から大和にある飛鳥の都へ通じる大道が整備されたことに始まります。それは、まさに当時の国家プロジェクトであり、飛鳥時代の東西交通の大動脈として利用されました。

時に飛鳥の都と大陸を結ぶ外交の道、後には聖徳太子信仰を支えた信仰の道としても栄え、悠久の歴史の中で様々な役割を担いながら、現在に受け継がれています。

近鉄南大阪線「古市駅」から市街地を抜けると、石川の河川敷が目の前に広がり、臥龍橋(がりょうばし)を渡ると、飛鳥川に沿うように「駒ヶ谷駅」に至ります。丘陵には、ぶどう畑が広がり、竹内街道沿いには重厚な屋根瓦の民家が軒を連ねています。

▼隼人石(人身獣面像)。



## 杜本神社

◎もりもとじんじや

かつて、宮中の月次祭(つきなみさい)や新嘗祭(にいなめさい)の際に朝廷から勅使が派遣され、格式の高い名神大社として栄華を誇っていた。織田信長の高屋城攻めで焼失し、その後は衰退したが、江戸時代に金剛輪寺の住職の覚峰により再興。現在の祭神は、経津主神(ふつぬしのかみ)、経津主姫神(ふつぬしのひめかみ)で、地域の人々の信仰を集めている。

●羽曳野市駒ヶ谷64  
●近鉄南大阪線「駒ヶ谷駅」から徒歩約5分



河内が育んだ、  
和食に合う”和飲(ワイン)“

▲ワインの話の聴いたり、様々なワインの飲み比べもできる、少人数のワイナリー見学会を月1回開催。団体での見学会や無料の工場見学ツアーなどもある。



▲遠くに、大阪市内や六甲山系も見渡せる。



### 鉢伏山西峰古墳

◎はちぶせやまにしみねこふん

市域東方に位置する鉢伏山から西に大きく伸びる尾根上に立地。飛鳥時代に築かれた古墳で、精美な切石で造られた横口式石槨(よこぐちしきせきかく)を埋葬施設としている。飛鳥時代の貴人が葬られたものと言われている。西方の眼下には大阪平野が広がり、羽曳野市内に点在する応神天皇陵古墳をはじめとする世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の古市エリアを一望することもできる。

- 羽曳野市駒ヶ谷(はびきの中央霊園内)
- 近鉄南大阪線「駒ヶ谷駅」から徒歩約30分

### 西琳寺

◎さいりんじ

飛鳥時代、渡来系氏族の西文(かわちのふみ)氏によって建立され、当時の寺域は竹内街道に面していた。西文氏は、王権の下では文筆や記録、外交の職務を担っていたという。現在の境内には、塔の心柱を支えた巨大な礎石が残され、また周辺の発掘調査で、主要な堂宇の屋根を飾っていた鴟尾(しび)も発見された。鴟尾は、市指定文化財に指定され、陵南の森公民館内の歴史資料室に展示されている。

- ☎072-956-0603 ●羽曳野市古市2-3-2
- 近鉄南大阪線「古市駅」から徒歩約8分



渡来系の西文氏が建立  
今も法灯を保つ古刹

#### おすすめルート

- S はびきのビジターセンター
- ① 古色の美
- ② 西琳寺
- ③ 杜本神社
- ④ 河内ワイン
- ⑤ 月読橋
- ⑥ 大黒寺
- ⑦ コロコロふれあいパーク
- G 駒ヶ谷駅



▲羽曳野の地で育ったデラウェア種のぶどうを使用した「デラウェア」1,800円(750ml)は、爽やかでみずみずしい香り。「マスカットベリーA」2,000円(750ml)。



### 河内ワイン

◎かわちわいん

ワインを通して、食を楽しみ、文化に親しめるワイナリー。工場を見学したり、昔は蔵だったレストラン金食堂での会食、ぶどう畑でのお手入れの体験やセミナー、試飲会など、様々な催しやイベントが盛りだくさん。「ワインを買うだけでなく、様々な体験をしていただき、濃密な思い出をつくってほしいんです。そうして、一人でも多くファンになっていただけたらうれしいですね」と金銅重行社長。初めての人におすすめの河内葡萄酒シリーズ。常に新しいものに挑戦しようと手掛けたKIEIシリーズ。個性が一番出ているのは、白鳥のエンブレムがラベルに付いているKOMAGATANIシリーズ。その他、梅酒の七福神(すべて味が違う)シリーズも人気が高い。詳しくは、河内ワインHP (<http://www.kawachi-wine.co.jp/>)で。

- ☎072-956-0181 ●羽曳野市駒ヶ谷1027 ●ワイン館10:00~18:00(土日祝9:00~) ●年末年始休
- 近鉄南大阪線「駒ヶ谷駅」から徒歩約8分



### 月読橋

◎つきよみばし

橋のたもとには、「太神宮」「金比羅大権現」と彫られている2基の石灯籠がある。石灯籠はかつて道案内の役割を果たし、古(いにしえ)より竹内街道の道標として息づいている。上流には「あすか河 もみじ葉ながる 葛城の 山の秋風 吹きぞしぬらし」という柿本人麻呂の歌が刻まれた市指定文化財の石碑も立っている。

- 羽曳野市駒ヶ谷 ●近鉄南大阪線「駒ヶ谷駅」から徒歩約8分



### 壺井八幡宮

○つぼいはちまんぐう

源頼義が、前九年の役への出陣に際して子の義家とともに石清水八幡宮に参詣し戦勝を祈願し、戦功を挙げることができたのでお礼の意をこめて、康平7年(1064)に八幡神を勧請したのが始まり。河内源氏の氏神として知られ、境内の西側には義家の子の義時が、頼信、頼義、義家の御霊を祀った壺井権現社が鎮座し、まさに壺井八幡宮周辺は河内源氏の本拠地だった。境内には樹齢1000年と言われる楠の巨木がそびえ、その威容は堂々たるもの。大阪府の天然記念物に指定されている。

☎072-956-2824 ●羽曳野市壺井605-2  
●近鉄南大阪線「上ノ太子駅」から徒歩約20分

河内源氏発祥の地と知られる  
中世の面影が残る八幡宮

4

## 古代ロマンの息吹あふれる 近つ飛鳥ロード

ちかつあすかるーど

▲樹齢1000年と言われる楠の木が堂々とそびえ立つ。大阪府指定の天然記念物。

古代からの歴史が  
刻まれた、ワイン好きも  
訪ね歩く丘陵地

羽曳野市の東南部には飛鳥という地名が見られます。ここはまさに河内の飛鳥の中心で、大和の飛鳥と区別し、「近つ飛鳥」と呼ばれます。「古事記」には、難波から大和へ向かわれた水歯別名(みずはわけのみこと、後の反正天皇)が初めに留まられた場所を近つ飛鳥、次に留まられた場所を遠つ飛鳥と名付けられた、と伝えられています。

近つ飛鳥は、最新の文化を携えた渡来系氏族が集住し、いわば、異国情緒が漂う先進文化都市のようでした。渡来系氏族の一つ飛鳥戸造(あすかのべのみやつこ)氏は百済王族の昆支王(こんぎおう)の系譜を引き、飛鳥神社の祭神は昆支王であったと言われています。

また、源氏に所縁のある壺井八幡宮、通法寺跡や源氏三代の墓といった歴史ファン必見のスポットもあります。



▶勇壮な小笠原流宮術(三三九手狭式)

周辺の丘陵地は、国産ワインの生産地の一つです。新緑の季節にはぶどうの葉が茂りはじめ、また、「マイワイン造り」や試飲会などのイベントも盛んに行われています。

### 和洋折衷旬料理エイトバース

◎わようせつちゆうしゆんりょうりえいとばーす

季節の旬の魚と南河内では採れた新鮮なお野菜、そして南河内を始めとする美味しい地酒を味わって頂くお店です。エイトバースのフィルターを通した旬の食材と地酒をじっくりとお楽しみ下さい。

☎072-958-0588 ●羽曳野市川向182  
●ランチ11:30~LO14:00  
ディナー(前日までの予約制)18:00~LO19:30  
●毎週火曜日、第二月曜日休  
●近鉄南大阪線「駒ヶ谷駅」から徒歩約10分



### コロコロふれあいパーク

(駒ヶ谷駅西側公園)

◎ころころふれあいぱーく(こまがたにえきにしがわこうえん)

観光農園と子どもの遊び場を併設した公園。ステージ・イベント広場・鯉のぼりならぬ「ぶどうのぼり」が整備されている。羽曳野の特産品であるぶどうをモチーフにしたゆるキャラ「つぶたん」が、つぶたん列車になって登場。カラフルなつぶたん駅に立ち寄りてみては。

●羽曳野市駒ヶ谷 ●近鉄南大阪線「駒ヶ谷駅」すぐ

てくてく  
コラム

### ぶどうの産地

駒ヶ谷・飛鳥地域はでは、主にデラウェア種のぶどうが栽培され、大阪府内で一番の生産量を誇ります。近年では人気のシャインマスカットなどの大粒ぶどうも栽培されています。市内のワイナリーでは、地元のぶどうを使用したワインイ製造もされており、ぶどうの産地として人気のエリアです。

### 大黒寺

◎だいこくじ

日本最古と言われる大黒天を本尊とする禅宗の古寺。約1350年前、役の行者(えんのぎょうじゃ)が金剛山で修行中に大黒天が出現し、そのおかげにより刻んだ大黒天像を祀るため、小堂を建てたのが始まりとされる。境内には、七福神の石像が建ち並び、壮大な風景を見ることができ、法堂には観音様も祀られ河内西国八番札所にもなっている。

☎072-956-0953 ●羽曳野市大黒499  
●近鉄南大阪線「駒ヶ谷駅」から徒歩約5分



▶弘法大師が使ったとされるお筆。(役の行者御作)

◀大黒様のお告げにより刻まれた大黒天像(御分身レプリカ)。



▶境内でひときわ大きな大黒様の石像。

商売繁盛、  
良縁、開運に  
ご利益あり!



## 通法寺跡

○つうほうじあと

長久4年(1043)に源頼義が狩猟中に千手観音像を見つけ、祀ったのが始まりとされている。江戸時代、徳川綱吉の時に柳沢吉保によって再興された。明治時代の廃仏毀釈で廃寺となり、山門と鐘楼が残っている。現在、境内は国指定史跡になり、桜の名所として知られている。

●羽曳野市通法寺41-12 ●近鉄南大阪線「上ノ太子駅」から徒歩約25分



### おすすめルート

- ⑤ 上ノ太子駅
- ④ 飛鳥戸神社
- ① 壺井八幡宮
- ⑤ 観音塚古墳
- ② 通法寺跡
- ⑥ 飛鳥ワイン
- ③ 源氏三代の墓
- ⑦ 上ノ太子駅

## 飛鳥戸神社

○あすかべじんじや

百済(くだら)王族の昆支王(こんきおう)を本来祭神としていたと言われる飛鳥戸神社。本殿は一間社流造り(いっけんしゃながれづくり)で、正面軒唐破風(しょうめんのきからはふ)付きのもの。神社の周辺には、昆支王の子孫とされる飛鳥戸造(あすかべのみやつこ)氏の墓域の飛鳥千塚古墳群が広がっている。

●羽曳野市飛鳥1023-6 ●近鉄南大阪線「上ノ太子駅」から徒歩約8分



百済王家の昆支王に  
所縁の深い古社

## 観音塚古墳

○かんのんづかこふん

かつてはぶどう畑だったが、昭和56年(1981)に国の史跡に指定され、横口式石柵(よこぐちしきせきかく)内を見ることができる。約12mの円墳か方墳で、高さは約2.5m。北および西側には周溝と考えられる凹地がある。石柵の構造などから7世紀中頃に築かれたと考えられる重要な古墳の一つ。

●羽曳野市飛鳥 ●近鉄南大阪線「上ノ太子駅」から徒歩約15分

## 近つ飛鳥の歴史 (ちかつあすかのれきし)

「近つ飛鳥」は、現在の大阪府羽曳野市飛鳥を中心とした地域を指します。これに対し、奈良県の明日香村は「遠つ飛鳥」と呼ばれます。近つ飛鳥の丘陵には、古墳時代後期の6世紀後半に築かれた小さな古墳が分布し、渡来系文化に関連する副葬品がしばしば出土します。飛鳥時代の7世紀には、朝鮮半島の古墳の埋葬施設に似た、精巧に加工した石材を用いた石室をもつ古墳が築かれます。平安時代初めに編纂された『新撰姓氏録』によると、当地周辺には安宿造、田辺史、上日佐、下日佐、竹原連、上村主、下村主、などの渡来系氏族が分布していたようです。

てくてく  
コラム



## 源氏三代の墓

○げんじさんだいのほか

11世紀中頃に河内守(かわちのかみ)に任ぜられた源頼信、のちに、前九年の役や後三年の役で活躍した頼信の子の頼義と孫の義家の三人が眠っている。

●羽曳野市通法寺 ●近鉄南大阪線「上ノ太子駅」から徒歩約25分

休日はワインで  
ほろ酔い♪



## 飛鳥ワイン

○あすかわいん

ぶどうの栽培からワインづくりまで、品質へのこだわりが自慢のワイナリー。全国環境保全型農業経営コンクールで草生栽培が評価され、奨励賞を受賞した。さらに、毎年のように国産ワインコンクールでも受賞を続けている本物のワインづくりは、様々な体験ツアーなどで多くの人に公開されている。工場・ぶどう畑見学ツアーにはファミリーも訪れ、にぎやかな休日になる。ほかに、「オリジナルラベルづくり」など、ワインを通して人々の輪が広がるアイデアイベントがたくさん行われている。詳しくは、飛鳥ワインHP(<http://www.asukawine.co.jp/>)で。

☎072-956-2020 ●羽曳野市飛鳥1104 ●近鉄南大阪線「上ノ太子駅」から徒歩約4分 ●ワインショップは、平日 日 10:00 ~ 17:00 ※イベント開催時は土・祝もオープンあり

- ▼ 飛鳥の秀逸畑シリーズ
- 左から 完熟シャルドネ (720ml)
- 樽熟のメルロー (720ml)
- 早摘みのデラウェア (720ml)



人々のつながりを大切にした  
創業90年を超えるワイナリー





### 吉村家住宅

○よしむらけじゅうたく

元和元年(1615)、大坂夏の陣で焼失後、直ちに再建されたと考えられ、桃山時代の数寄屋風の書院造りの建築様式を留める、近世の庄屋豪農の代表的な家屋。急勾配の茅葺と妻側の一段低い瓦葺の2種類の屋根が特徴で、また竹天井や襖の取手、奥座敷の欄間や襖絵に当時の面影が残っている。昭和12年(1937)に民家で初めて国宝に指定、その後、昭和25年(1950)に改めて重要文化財に指定された。昭和26～28年(1951～1953)に大規模な解体修理がなされ、約400年前の姿に復元された。年4回の一般公開や吉村家住宅の歴史を学ぶセミナーが開かれている。ぜひ、訪れてみたいスポットの一つ。

☎072-958-1111(市文化財課)

●羽曳野市島泉5-3-5 ●近鉄南大阪線「高鷲駅」から徒歩約15分

### 明教寺

○みょうきょうじ

約1400年前に鳳凰寺として建立され、戦国時代には幾度となく兵火にさらされたという。天正18年(1590)、豊臣秀吉により再興。本堂、山門、太鼓鐘楼、庫裏、玄関などを今に残している。明教寺旧境内図をはじめ、秀吉、家康らの書状など貴重な資料を守り伝えている。

☎072-939-3162 ●羽曳野市島泉2-2-22

●近鉄南大阪線「高鷲駅」から徒歩約10分



▼明教寺旧境内図。



大坂夏の陣の後に再建され、  
近世豪農の名残りを伝える民家

▲400年前の姿は、伝統と格式を今に伝える。



5

昔も今も人や物が行き交う

## 長尾街道

ながおかいどう

地元に愛される  
路地裏に広がる  
暮らしの風景

近鉄南大阪線「高鷲駅」から「恵我ノ荘駅」周辺は、現在、路地が伸び、住宅などが立ち並んでいます。長尾街道は、近鉄南大阪線と並行するように住宅街の中を通り、今も羽曳野市周辺の南河内エリアと堺などを結ぶ重要な生活道路になっています。

その歴史は古く、堺市北部から奈良県葛城市にある長尾神社付近までを結ぶ重要な街道で、かつては「大津道」と呼ばれていた時代もありました。「説には、「高鷲駅」の南に位置する大津神社に由来するとも。また、古(いにしえ)の頃より、人や物の流通に欠かせなかった大和川や石川の合流地点を大津と呼び、そこに至る道という意味で呼ばれていたとも言われています。現在の長尾街道の名は、明治18年(1885)以降に使われるようになり、時代の移り変わりの中で街道の役割も変化しているのでしょう。

長尾街道は、車の往来が多くにぎわいを感じますがひとたび路地裏に入り込むと地域に根づいた暮らしを探索することができます。「おやつ!」と思わせる風景の中には、国の重要文化財に指定されている吉村家住宅の土塀が広がることも、明教寺の荘厳な本堂を目にすることができます。



▲ ナッコプセ



▲ チャプチェ

## Korean Dining せせらぎ

○こりあん だいにんぐ せせらぎ

落ち着いた韓国料亭のような雰囲気でありながらアットホームな空気が流れる店内。おすすめのメニューはチヂミでチーズ入り、海鮮、明太子じかチーズなど種類も多く、生地はふっくらでもちもちとした食感。日本では、まだ知らない人も多い“ナッコプセ”の名前の由来は、ナクチ(手長ダコ)やコブチャン(ホルモン)、セウ(海老)の頭文字をとった釜山名物のピリ辛の煮込み料理で、韓国では若い女性を中心に大人気の一品。その他、定番のチャプチェやスンドゥブチゲ、お酒に合う一品料理まで、多彩な本格韓国料理が楽しめる。

☎072-959-4395 ●羽曳野市恵我之荘4-4-26

●月曜～水曜、金曜～日曜 17:00～24:00

(料理LO23:00、ドリンクLO23:30)

●木曜休

●近鉄南大阪線「恵我ノ荘駅」から徒歩約10分



## 大津神社

○おおつじんじや

大津神社は、古来水運を担っていた渡来系氏族の津氏の祖先神を祀ったのが始まりと言われ、中世以降は、周辺9ヶ村の氏神として、「河内の大宮」と称えられた。現在では、素戔嗚尊(すさのおのみこと)、奇稲田姫命(くしなだひめのみこと)、天日鷲命(あめのひわしのみこと)のほかに、農耕など産業全般の守護神とされる大山咋命(おおやまくいのみこと)、学問の神様の菅原道真公、また境内には技芸の神、知恵の神と崇拝される弁天様、商売の神である恵比寿様やお稲荷様などが祀られ、地域の発展を支えている。1月7日～9日まで行われる八日戎は、南河内随一のにぎわいをみせている。2月3日の節分の日には、立春から1年間の厄除開運祈願に多くの人々が訪れる。

☎072-955-0945 ●羽曳野市高鷲8-1-2

●近鉄南大阪線「高鷲駅」下車すぐ

## 美吉乃

○みよしの

素材はええもん(浅間山や羽曳野のキャベツ、ネギ、宮崎の卵、鹿児島のもち豚、栃木の無着色生姜など)と、できるだけ国産にこだわる。人気トッピングの羽曳野名物「油かす」は、コラーゲン豊富で肌ツヤに効果があり、ビールとの相性も抜群。食後に初代店主秘伝のさらりとした蜜を使ったあんみつもおすすめ。遠方からの来客も多く、店内は常連客で賑わっている。お好み焼、焼きそばのみならず、鉄板焼きメニューも豊富。写真は豊潤芳香、垂涎のあぶらかす豚ネギ玉ともち豚とん平焼き。是非ご賞味下さい。

☎072-955-1925 ●羽曳野市恵我之荘1-4-1

●11:00～15:00、17:00～22:00(LO21:30) ●月曜、第1・第3火曜休

●Instagram: @miyoshino\_since\_1957



▲もずふる

## パティスリー バロン

○ばていすりー ばろん

羽曳野の老舗洋菓子店。店主の中山啄実さんは、「子どものころから『御陵さん』として親しみのあった『百舌鳥・古市古墳群』の事を多くの人に知っていただき、大切に、美しい姿で次の世代に引き継げるよう協力していきたい」と語る。旬の果物は、近隣の農家から直接買い付けし、素材の味を活かした季節限定のケーキなどが店内を色鮮やかに彩っている。

☎072-953-8800 ●羽曳野市南恵我之荘8-1-3 ●8:00～20:00(カフェLO19:00)

●無休(ただし1/1・2、12/26は休) ●近鉄南大阪線「恵我ノ荘駅」目の前



食べ歩きも楽しいね



### おすすめルート

- ⑤ 高鷲駅
- ① 大津神社
- ② Old Lanterns Cafe
- ③ 吉村家住宅
- ④ 明教寺
- ⑥ 恵我ノ荘駅



## タヴェルナ エッセ

○たぐえらな えっせ

地元の小池農園さん、和歌山の季節の野菜を使っているイタリアン。ヨーロッパから届く食材、市場で買い付ける新鮮な魚介類を自慢の炭火焼き料理に仕上げている。打ち立ての自家製パスタもおすすめ。

☎072-933-3178 ●羽曳野市恵我之荘1-3-2

●11:30～14:00、18:00～22:00 ●月曜休、月1回不定休

●近鉄南大阪線「恵我ノ荘駅」から徒歩約2分



## 自家焙煎珈琲 Old Lanterns Cafe

○じかばいせんこーひー おーどらんたんず かふえ

キャンプイベントやマルシェなど、数々のイベントに出店していた人気の移動式コーヒースタンドが、羽曳野市にコーノ式専門店としてオープン。店内にはビンテージ品の、ランタンやコーヒーマルが飾られ、コーヒーインストラクターの資格を持つ店主の岸本さんは、お客様の好みに合わせ、1杯ずつ丁寧にハンドドリップで提供します。ブレンドやストレート、フルーティーな珈琲から苦味とコクのある珈琲など、厳選した珈琲を取り揃えていますので、きっと好みの珈琲に出会えるはず。またコーノ式ドリッパーも新色が出るとどこよりも早く発売するお店として有名です。

☎072-989-1228 ●羽曳野市島泉6-4-15

●土曜、日曜 9:00～17:00

●月曜～金曜休 ●近鉄南大阪線「高鷲駅」から徒歩約12分



## BEACH -CAFÉ REST-

食べる ●びーち かふえれすと

ボリューム満点の人気のオムライスは、マイルドなピラフにふわとろ卵が絶妙でペロリと完食できる。自家製ケチャップやタルタル、中華あんなどのソースが選べるのもこの店ならではの。サラダ付きオムライス 850 円 (税込)。  
☎072-958-8551  
●羽曳野市羽曳が丘西3-5-36  
●9:00~14:00 ●水曜休



## 和菓子工房 あん庵

食べる ●わがしこうぼう あんあん

TVチャンピオン3回優勝した和菓子屋。地元の大学や食材の生産者ともコラボして楽しい和菓子作りをしている。百舌鳥・古市古墳群クッキー「はにわのかくれんぼ」は、古墳カードが入って、5つの味が楽しめます。

☎072-950-1122  
●羽曳野市羽曳が丘西1-4-53  
●9:00~18:00 ●水曜休



## アジアフレンチレストラン タンブール

食べる ●あじあんふれんちれすとらん たんぶーる



フランス、アジア、日本の味を融合させた野菜好きシェフが創る無国籍料理(アジアフレンチ)の店。地元的新鲜野菜を盛り込んだ多彩なコース料理が自慢。アミューズからデザートまでを楽しめる。国産牛ソテーのランチコース 4,300円(税込)。  
☎072-958-8234  
●羽曳野市はびきの4-15-13  
●【火~日】11:30~15:00(LO13:30)  
●【金~日】18:00~22:00(LO20:00)  
●月曜休(祝日の場合は営業翌日)

## KASUYA 羽曳野店

食べる ●かすや はびきのてん

味に妥協ナシ! こだわり抜いて作った油かすがおいしさの秘密。濃厚な旨味と、極上のだしをまとったうどんは南大阪名物の実力。かすうどん 900円(税込)というリーズナブルさも人気の理由だ。

☎072-939-2911 ●羽曳野市向野3-96-3  
●11:00~25:00(LO24:30)  
●毎週火曜休



お染・久松の墓

## 野中寺

見る ●やちゅうじ

野中寺は、聖徳太子が蘇我馬子の助力を得て、建立したと伝えられている。境内は国指定史跡で、復元された中門を入ると、金堂跡、塔跡があり、飛鳥時代の雰囲気味わえる。白鳳期の金銅弥勒菩薩半跏像や平安期の木造地藏菩薩立像は重要文化財に指定され 毎月18日に拝観できる。また、浄瑠璃や歌舞伎の定番の演目になっている「お染・久松の墓」が墓地内に残っている。

☎072-953-2248 ●羽曳野市野々上5-9-24  
●近鉄南大阪線「藤井寺駅」から徒歩約19分



## 畑田家住宅

見る ●はただけいじゅうたく

畑田家住宅は、郡戸にある旧家で、平成11年(1999)に国の登録有形文化財に登録。厨子二階をもつ主屋は、田の字形平面に座敷がつき、土間の梁に架橋に古い伝統を残す。南東隅には長屋門があり、その西には二棟の土蔵が連なっている。平成20年に主屋南側の応接室と仕切扉などが追加登録された。屋敷の意匠は明治時代の趣きをよく伝え、羽曳野市の古民家を代表するものであることから、平成29年に市指定文化財になった。

☎072-762-7495 ●羽曳野市郡戸470 ●近鉄南大阪線「患我ノ荘駅」から徒歩約30分、「河内松原駅」から近鉄バス平尾行き郡戸下車徒歩約3分

## 乗馬クラブ クレイン大阪

遊ぶ ●じょうばくらぶ くれいんおおさか

小学生から70歳までを対象にした乗馬スクール。ブーツ、ヘルメット、プロテクターのレンタルもあるので、休日に家族で乗馬体験を楽しむこともできる。見学だけから上級者のレッスンまで、乗馬の魅力が満載! 詳しくはHPにて!

(http://www.uma-crane.com/map-osaka-course/)  
☎072-362-3450 ●羽曳野市河原城991  
●10:00~16:00  
●火曜休



動物取扱業(種別展示)登録済み



## 健康ふれあいの郷 グラウンド・ゴルフ場

遊ぶ ●けんこうふれあいのさと ぐらうんど・ごるふじょう

「道の駅しらとりの郷・羽曳野」の向い側にある天然芝使用の本格的で難易度の高いコース。3コース24ホールで構成され、月例大会やチャンピオン大会などイベントも盛ん。健康増進に通う人や家族連れのリクリエーションとしても人気。

☎072-950-6611 ●羽曳野市羽曳が丘9-35-1 ●木曜休(祝日の場合は翌日)、12月29日~1月3日 ※料金は、お問い合わせください。 5月~8月は、7:00~19:00(最終スタート17:00) 9月~4月は、9:00~17:00(最終スタート15:00)

## 天然温泉延羽の湯 本店羽曳野

飲む ●てんねんおんせん のべはのゆ ほんてんはびきの

500坪の庭園に7種の露天風呂、2種のサウナがあり。露天風呂では入浴効果が高めるために3つの温度で温泉を設定し、源泉かけ流し「高濃度ナノ炭酸泉」「つぼ湯」「岩風呂」「寝湯」など、さまざまなタイプのお風呂が楽しめる。また、男女共用で「薬石汗蒸房」には、4種の薬石が使用されたトロコ式「麦飯石サウナ」や厳選された12種の薬草を使用した「薬草房」他にも「ゲルマニウム房」「岩塩房」があり、遠赤外線やマイナスイオンによるデトックス効果(解毒効果)が期待できます。またヒーリングゾーンにはコミックが15,000冊あり。高温サウナでのロウリュサービスも毎日開催され、存分に楽しめます。

☎072-950-1126  
●羽曳野市広瀬186-3 ●10:00~25:00(最終受付24:00 薬石汗蒸房は23:00)  
●無休(施設点検日は除く)

大人(中学生以上)平日900円、土日祝1,000円  
子供(小学生以下)平日500円、土日祝560円  
※3歳以下無料。  
薬石汗蒸房利用は別途料金。



## 天然温泉 華の湯

飲む ●てんねんおんせん はなのゆ

羽曳野の名湯。地下1,100メートルから汲み上げ、湧出量は毎分450リットル、湯温は43℃の本格天然温泉で、たっぷり贅沢な「かけ流し」。高濃度のため、成分が体に浸透しやすいのも特徴。

~華の湯 名湯の極意三箇条~  
一、湧きたてのお湯をそのままかけ流し  
二、さらさらと肌に染み入るナトリウム泉  
三、和の風情に癒される石風呂と檜風呂  
☎072-946-8726 ●羽曳野市野453  
●10:00~24:00(最終受付23:00) ●不定休

大人750円(税込)、子供(4歳~小学生)400円(税込)、シルバー(65歳以上)平日16:00まで650円(税込)。回数券(11枚綴り)7,500円(税込)。



## 西浦銅鐸

見る ●にしうらどうたく

(慶南の森公民館内歴史資料室)

昭和53年(1978)に埋納当時のまま発見された弥生時代後期の銅鐸。弥生時代の美しい輝きや考古学的価値が高いことから、平成3年(1991)に重要文化財に指定された。

☎072-952-2751  
●羽曳野市島泉8-8-1  
●9:00~17:30 ●年末年始休  
●近鉄南大阪線「高麗駅」から徒歩約10分

道の駅しらとりの郷・羽曳野

# 食べる、買う、遊ぶ!!

## 羽曳野の魅力がギュッとつままった宝の山

土日だけでなく、平日もにぎわいをみせる、年間約100万人が訪れる人気スポット。おすすめは、地元を中心に近隣の朝採り野菜やフルーツなどが、広い店内にスラリと並びJA大阪南農産物直売所「あすかてくるで」。「お腹がすいたら、うどんやパンなど。地元の名物や名産を味わったり、買ったりでできる商工物産館「タケル館」へぜひお越しください。



近隣の市町村の農家のみなさんが丹精込めて育てた野菜やフルーツが並ぶ様子は圧巻。季節の旬のものや新鮮なものがおいしさが際立っている。人気のいちごやいちじくなどはすぐに売り切れてしまうという。



回転が良いため長持ちする新鮮なお花。

大阪府立大学で栄養療法学を専攻する学生たちと、「みどり製菓株式会社」のコラボで生まれた、大阪いちじく1,026円(税込)。特産品であるいちじくの爽やかな甘さのゼリーと、紫芋のほっくりとした食感でおいしく、見た目にも楽しいタルト!



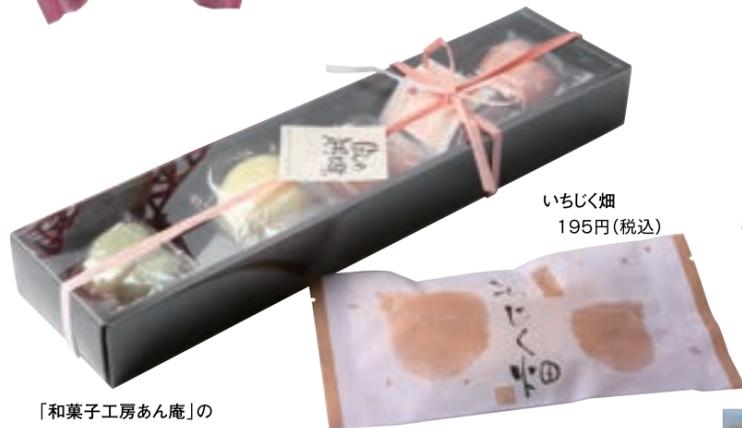
道の駅タケル館限定 オリジナルどら焼き。  
羽曳野特産品いちじくあん入り  
216円(税込)。



タケル館にある、焼きたてパンの「ばんろーど」のカレーパン1個205円(税込)。1日に何十回と焼き上げるので、できたてが味わえる確率大。とてもマイルドな味で牛肉がごろっと入っているのもうれしい。



古墳ふせん  
330円(税込)



いちじく畑  
195円(税込)



「タケダハム」の直営店、肉の竹田屋では国産豚を使用したモモハム、焼豚、ポークウインナーを道の駅限定商品として販売。ハムのもつ風味をお客様に味わってほしいので、店内スライスにこだわっています。

「和菓子工房あん庵」の  
想ひいろいろハート最中。  
5個入りギフト1,404円(税込)。



農家の奥さん達「KURETAI」  
ス(が)つくる、いちじくジャム  
480円(税込) 皮入り560円(税込)。



「ばいせん工房 珈琲倶楽部」で味わえるソフトクリーム  
コイン320円(税込) ワッフル340円(税込)。



「はびきのうどん」の名物  
かすうどん781円(税込)。牛一頭から  
2kgしかとれない希少な小腸を素揚げにしたのが「油かす」だ。  
油かすが入ることで肉の旨味が広がり、独特の味わいやみつきに。



お酒の肴に  
馬肉の燻製、さいほし、1,000円(税込)。



世界の珈琲豆を取り揃えた  
「ばいせん工房 珈琲倶楽部」の  
プレゼントにも最適なドリップバッグギフト  
3,100円(税込)は3種類の味が5袋の詰め合わせ。  
かわいい木樽には、お好みの珈琲豆が選べます1,200円(税込)。



羽曳野市に本社がある  
「チヨヤ梅酒株式会社」のおすすめ商品が販売されています。  
The CHOYA AGED 3 YEARS 700ml 2,500円(税別)。



地元で人気の「ツツミ食品株式会社」の  
ツツミいちじくソイス313円(220ml)(税込)。  
河内産ワイン、金剛山麓の湧き水を使用。  
ツツミカソイス(220ml)  
甘辛345円(税込) 辛口345円(税込)。

- 道の駅しらとりの郷・羽曳野  
羽曳野市植生野975-3 木曜、年末年始  
〇9:30~18:00 ☎072-957-6900
  - 商工物産館「タケル館」  
〇9:30~18:00 ☎072-957-8180
  - JA大阪南農産物直売所「あすかてくるで」  
〇9:30~18:00 ☎072-957-8318
- 近鉄南大阪線「古市駅」より近鉄バス  
「羽曳ヶ丘西3丁目北」下車、徒歩15分  
市内各所より公共施設循環バス「道の駅行」を運行